



2020年9月10日

ST600クラス及びST1000クラスの規則改定について

- 1 ST600クラスのブレーキに関し、安全性の向上を目的に、下記のとおり規則の一部を改訂することといたします。また、7月31日付けで規則改定を行ったST1000クラスのブレーキに関する規則を追加します。

改訂規則施行：即日（9月10日より）

国内競技規則 202 頁及び 225 頁 7-3-7 ブレーキ

- ① 条項番号 7-3-6-6 を 7-3-7-6 に訂正する。
- ② 7-3-7-6 を下記のとおり改訂する。**(ST600・ST1000クラス)**
フロントとリアブレーキキャリパー（マウント、キャリア、ハンガー）は、車両公認時のものでなければならない。
以下を追記する。
「ただし、キャリパーピストンは、公認車両に装備されたキャリパーと同一メーカー製の一般市販車用キャリパーピストン（ピストンシール含む）で、MFJ の認めるものに変更することが出来る。」

* ST1000クラスについては、7月31日付け改訂規則に対して、変更許可部品にピストンシールを追記する。

対象機種（現時点での対象機種であり、メーカーからの申請により追加される場合があります。）

ホンダ

CBR600RR（PC40） トキコ製ブレーキキャリパー装着車

- ※変更部品 45107-MEL-003 ピストン（32）（CBR600RR～2007年）
（*45107-MFL-013 ピストン（32）からの変更。）
45117-MEL-003 ピストン（30）（CBR600RR～2007年）
（*45117-MFL-013 ピストン（30）からの変更。）

ヤマハ

YZF-R6 ADVICS 製ブレーキキャリパー装着車

- ※変更部品 4SV-25802-10 ピストンアセンブリ（上部）（MT09）
4SV-25802-00 ピストンアセンブリ（下部）（MT09）
（*5PW-25802-00・5PW-25802-10 ピストンアセンブリからの変更）

*ピストンシールは 5PW-25803-00・5PW-25803-10 を使用

YZF-R1 ADVICS 製ブレーキキャリパー装着車（追加部品）

*ピストンシールは 5PW-25803-00・5PW-25803-10 を使用



2 ST1000クラス 2020年度全日本選手権における暫定特別規則の適用について

今年度より開催されるST1000クラスについて、ブレーキのヒートタフネス不足の懸念があり、一部の機種についてはキャリパーピストンの材質変更（アルミ⇒鉄）で対応する事としたが、材質変更が難しい機種もあるため、2020年度の全日本選手権に限定した暫定対応として以下の規則を適用する。

暫定特別規則施行：即日（9月10日より）

暫定特別規則：

7-3-12-4

フロントフェンダーはアフターマーケットのものに変更することができる。
外観は公認車両時と同じでなければならない。カーボン/ケブラーは使用できない。
また、タイヤとのクリアランス確保するための最低限の取り付け位置の変更が認められる。

以下を追記する。

冷却のためにフロントフェンダーにドリルで穴を開けたり、カットすることができる。
直径10mm以上の大きさの穴を開けた、及びカットした場合はメタルガーゼ、または目の細かいメッシュで覆われ、周囲の材質に合うようにペイントされていなくてはならない。
ただし、DUNLOPのDマークの貼付範囲に掛からないこと及び取り付け強度が確保されていること。

(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会
技術委員長 東 誠 治